

累計1000名以上の再登校例から傾向を分析、不登校の予測へ応用 株式会社スタヂ、新サービス「不登校診断テスト」をリリース

株式会社スタヂ(所在地:東京都渋谷区、代表取締役:小川涼太郎、以下「スタヂ」)は、新サービス「不登校診断テスト」をリリースしたことをお知らせいたします。本サービスは、不登校に悩まれている、または不安を抱えているご家庭に向けたオンライン診断ツールです。

<サービス概要>

「不登校診断テスト」は、ご家庭の環境やお子様の現状をチェックすることで、不登校の兆候やリスクを発見することを目的としています。質問は35項目で、総合判定と「生活習慣」「デジタル機器への考え方」「親子関係」「自己肯定感」「思考の柔軟性」の5項目、それぞれでAからEの判定結果が表示されます。この診断テストを通じて、親子関係の構築方法を工夫することで、ご家庭で不登校への対応策を講じることができます。

(画像)判定画面イメージ

➤ 不登校診断テスト



診断結果

総合判定

C

お子さんの状態に少し課題があるかもしれませんが、お子さんが不登校の場合は、これ以上状態が悪化する前に対応してあげてください。お子さんが不登校でない場合は、フィードバックを意図し、より良い状態を目指してあげてください。

2024年05月29日 受診
お子さんの学年 小学校5年生

検査項目別判定

生活習慣	D
デジタル機器への考え方	B
親子関係	B
自己肯定感	C
思考の柔軟性	C

評価基準

A	お子さんの状態は非常に良好です。
B	お子さんの状態は概ね良好です。6ヶ月に1回の診断を検討してください。
C	お子さんの状態に少し課題があるかもしれませんが、3ヶ月に1回の診断が必要です。
D	お子さんの状態に課題がありそうです。1ヶ月後に再度診断をお受けください。
E	お子さんの状態に大きな課題があります。個別相談へお申し込みください。

サービスの詳細については、以下のURLをご参照ください。

[不登校診断テスト](https://sudachi.support/lp/futoukou_shindan/)

<サービス開発の背景>

スダチでは、これまでに1000名を超えるお子様を再登校に導いており、不登校が続き状況が悪化するご家庭には、いくつかの共通点があることがわかってきました。また、独自に集計したアンケートからも、不登校が長期化する前にできるだけ早く対応することで、再登校までの過程がよりスムーズになる傾向があることもわかりました。

文部科学省のまとめによると、小中学校の不登校児童生徒数は令和4年度に約30万人と、10年連続で増加しており、深刻な状況が続いています。

スダチの取り組んでいる事業ではこれまで、不登校のお子様を再登校に導くことを主眼にしてきましたが、状況が悪化する前に何らかの対応をすることが必要であると考え、増え続ける不登校問題を解決するための方策として、新しいサービスの開発を進めてきました。

本サービスは、不登校で悩んでいるご家庭はもちろん、不登校には至らずとも子育てで多くの心配事を抱えるご家庭にも有効であると考えています。本サービスが不登校問題の一助となるよう、利用拡大を進めていきます。

<会社概要>

会 社 名:株式会社スダチ
代 表 者:代表取締役 小川涼太郎
所 在 地:東京都渋谷区神宮前6-28-9
設 立:2019年5月7日
事 業 内 容:不登校支援事業
U R L:<https://sudachi.support/corp/>

<お問い合わせ先>

株式会社スダチ 代表取締役社長 小川涼太郎
メール:ogawar@sudachi.support
電 話:03-4500-1520